

株主のみなさまへ

第5期中間報告書

平成18年4月1日～平成18年9月30日



MILLEA ミレアホールディングス



取締役社長 石原邦夫

CONTENTS

◆ ミレアグループ経営理念・CSR憲章	1
◆ 社長メッセージ	2
◆ ミレアグループ トピックス	4
◆ ミレアサービスMAP	6
◆ ミレアホールディングス 中間決算概況(連結)	8
◆ ミレアホールディングス 中間決算概況(単体)	10
◆ 東京海上日動 事業概況	12
◆ 日新火災 事業概況	14
◆ 東京海上日動あんしん生命 事業概況	16
◆ 東京海上日動フィナンシャル生命 事業概況	18
◆ 株式の状況	20
◆ 会社概要	21

ミレアグループ経営理念

ミレアグループは、お客様の信頼をあらゆる活動の原点におき、企業価値を永続的に高めていきます。

- お客様に最高品質の商品・サービスを提供し、安心と安全をひろげます。
- 株主の負託に応え、収益性・成長性・健全性を備えた事業をグローバルに展開します。
- 社員一人ひとりが創造性を発揮できる自由闊達な企業風土を築きます。
- 良き企業市民として公正な経営を貫き、広く社会の発展に貢献します。

ミレアグループCSR憲章

ミレアグループは、以下の行動原則に基づいて経営理念を実践し、社会とともに持続的成長を遂げることにより、「企業の社会的責任(CSR)」を果たします。

商品・サービス

- 広く社会の安心と安全のニーズに応える商品・サービスを提供します。

人間尊重

- すべての人々の人権を尊重し、人権啓発に積極的に取り組みます。
- 安全と健康に配慮した活力ある労働環境を確保し、人材育成をはかります。
- プライバシーを尊重し、個人情報管理を徹底します。

地球環境保護

- 地球環境保護がすべての企業にとって重要な責務であるとの認識に立ち、地球環境との調和、環境の改善に配慮して行動します。

地域・社会への貢献

- 地域・社会の一員として、異なる国や地域の文化や習慣の多様性を尊重し、時代の要請にこたえる社会貢献活動を積極的に推進します。

コンプライアンス

- 常に高い倫理観を保ち、事業活動のあらゆる局面において、コンプライアンスを徹底します。

コミュニケーション

- すべてのステークホルダーに対して、適時適切な情報開示を行うとともに対話を促進し、健全な企業運営に活かします。

社長メッセージ

はじめに

ミレアグループは、「お客様の信頼をあらゆる活動の原点におくこと」を経営理念に掲げ、「事業活動のあらゆる局面において、コンプライアンスを徹底する」ことを行動原則とし、企業の社会的責任（CSR）を果たしていきたいと考えております。

そうしたなか、東京海上日動において、保険金のお支払漏れが発生していたことが判明し、同社は昨年11月に金融庁から業務改善命令を受けました。その後、業務改善計画に基づき調査を行った結果、さらなるお支払漏れが判明し、その内容を本年9月29日付で金融庁へ報告するとともに对外公表いたしました。また、第三分野商品の保険金支払に関して検証した結果、過去に不適切な不払事案を発生させていたことが判明し、その内容を本年10月31日付で金融庁へ報告するとともに对外公表いたしました。こうした事態は、お客様はもとより、広く社会の信頼を損ねるものであり、株主の皆様にも多大なるご迷惑、ご心配をおかけしましたことにつき、改めて深くお詫び申し上げます。

東京海上日動は、社長である私を委員長とする「業務品質改善委員会」を設置して適正な業務運営の徹底を図るとともに、保険金のお支払態勢を強化するために「損害サービス審査会（第三者審査会）」、「再審査請求制度」、「保険金請求ご相談コーナー」を設置するなど、再発防止に向けた各種取り組みを進めており、「お客様にお支払の対象となる保険金を漏れなくご案内し、漏れなくお支払する」という基本姿勢を徹底させてまいる所存です。

ミレアグループは、社会性、公共性が強い保険事業を中核とする企業グループであり、保険本業を通じてお客様に「安心と安全」をお届けし、豊かで快適な暮らしと社会の発展に貢献したいと考えております。そのためにも、事業活動のあらゆる局面においてコンプライアンスを徹底し、皆様から全幅の信頼をいただけるよう全力で取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、何卒引き続きご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Q 上半期の国内損害保険事業の状況はいかがでしたか

A 東京海上日動では、主力商品の自動車保険において、「保険」に「アシスタンス」を融合させた「トータルアシスト」を昨年8月から販売しています。この商品の販売が引き続き好調で、損害保険事業における好業績のけん引役となっています。また、活発な設備投資や物流の世界的な活況に伴い、火災・新種・海上の各保険種目においても、前年同期に比べて正味収入保険料が増収となっております。一方で、9月に発生いたしました台風13号などの自然災害の影響等によって、中間純利益は減少となりました。



体制面では、東京海上日動と日新火災の提携関係をさらに発展させ、ミレアグループにおける損害保険事業を一層強化するために、本年9月30日付で当社が日新火災を完全子会社といたしました。今後は、東京海上日動のリーディングカンパニーとしての強みと、日新火災のリテールマーケットにおける強みを最大限に活かし、ミレアグループ全体の企業価値を向上させていきます。

Q 上半期の国内生命保険事業の状況はいかがでしたか

A あんしん生命は、本年10月1日をもって開業10周年を迎えました。開業以来、革新的な商品の開発とお客様ニーズに合った保険の設計・販売を行うことにより、着実な成長を続けてまいりました。また、今後のさらなる発展に向けた財務基盤の強化を目的として、本年9月28日付で500億円の資本増強を実施いたしました。

フィナンシャル生命は、金融機関との業務提携を増やすことで販売基盤を拡充し、当上半期も銀行窓口販売を中心とした変額個人年金の販売において、飛躍的な保険料の増収を果たしました。また、本年9月28日付で150億円の資本増強を実施し、事業規模の拡大に応じた財務基盤の強化を図っております。

Q 今後の経営戦略のポイントは何か

A ミレアグループは、中長期的な戦略として「保険のステージを拡大し、世界トップクラスの保険グループを目指す」というビジョンを掲げ、その達成に向けた最初のマイルストーンとして「ステージ拡大2008」（2006～2008年度中期計画）を策定し、その実現に向け鋭意取り組んでおります。

この計画においては、3つの戦略的な「ステージ拡大」を掲げており、その1つ目は、多様化するお客様ニーズを的確にとらえた商品を開発していくという「商品・サービス戦略のステージ拡大」です。具体的には、事前の事故防止サービス・事後のケアサービスなどの「アシスタンス」と「保険」の融合を推進しています。

2つ目は、「チャンネル戦略のステージ拡大」です。銀行窓口販売の全面解禁などの事業環境の変化をすばやくとらえ、お客様との最適な接点となる販売チャンネルを構築してまいります。

3つ目は、「事業地域のステージ拡大」です。地域特性を踏まえた海外グループ会社の成長戦略と、M&Aなどの戦略を組み合わせ、ミレアグループならではのグローバル戦略を展開してまいります。

ミレアグループ トピックス

株式の分割および単元株制度導入等

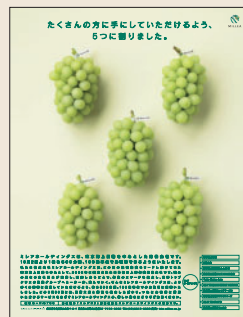
当社は、株式の投資単位あたりの金額を引き下げること、投資家の皆様により投資しやすい環境を整えることを目的として、株式の分割および単元株制度導入等を実施いたしました。本年10月2日以降、従来の1株を500分割した当社株式を100株単位で売買していただけるようになっております。

「プライバシーマーク」の取得

ミレアグループでは、お客様情報に関する管理態勢強化の一環として外部認証の取得に積極的に取り組んでおり、あんしん生命が本年4月に、また東京海上日動キャリアサービスが本年6月に、財団法人日本情報処理開発協会より「プライバシーマーク」を取得しました。あんしん生命は、生命保険会社で初めての認証取得となります。この「プライバシーマーク」制度は、個人情報保護に関する第三者認証制度であり、個人情報について適切な保護措置を講ずる態勢を整備している事業者を、その申請に基づき認証するものです。

「ミレアグループCSR報告書2006」の発行

ミレアグループでは、主要なCSR活動をわかりやすくご紹介することを目的として、「ミレアグループCSR報告書」を年1回発行しており、その内容は当社のホームページにも掲載しています。この報告書は、ステークホルダー（株主の皆様・お客様・代理店・社員・地域社会）の皆様との重要なコミュニケーションツールであり、今後も内容をさらに充実させていきたいと考えております。



株式の分割および
単元株制度導入の広告



あんしん生命の
プライバシーマーク許諾証



CSR報告書2006の表紙

適正な業務運営に向けた社内態勢

東京海上日動は、適正な業務運営を更に徹底するために、主体的に問題点を洗い出し、自らの力で能動的に改善していくという自浄能力をより一層強化する必要があると考え、下記のとおり新たな社内態勢を構築しました。

内部監査専任役員の配置	内部監査の強化を目的としています。
業務品質改善委員会の設置	適正な業務運営に向けて、部門横断でスピーディーな課題解決に取り組んでいます。
お客様の声室の設置	お客様から寄せられた苦情、ご要望などを収集・分析して課題を抽出し、再発防止策の立案、推進を行っています。
【保険金お支払態勢の強化】	
・ 第三者審査会	・ 外部委員によって構成し、透明性の高い審査を実施します。
・ 再審査請求制度	・ お客様からの保険金の支払に関する不服申し立てに対応します。
・ 保険金請求ご相談コーナー	・ カスタマーセンター内の専門スタッフがお客様からの保険金請求に関するご照会・苦情にお応えします。

マングローブ専門WEB「mangrove-world」の開設

ミレアグループは、地球環境保護に積極的に取り組んでおり、東京海上日動が1999年度からマングローブ植林「海の森づくり」をその象徴的活動として進めてまいりました。2003年度には、東京海上日動の事業活動で排出するCO₂を吸収することができる3,444haの植林を達成し、地球温暖化に影響を与えないカーボンニュートラル企業となりました。さらに2008年度までに2,000ha、累計5,000haの植林を目指し、引き続き活動を行っています。

熱帯・亜熱帯の海の干潟や河口部に育つマングローブは、地球温暖化の要因といわれるCO₂を多く吸収するほか、「みどりの防波堤」として津波や台風の被害を防ぐ役割も果たします。2004年12月に起きたスマトラ沖地震の際には、マングローブの防災効果に注目が集まりました。

今般、マングローブについて学ぶコンテンツや、マングローブ植林を疑似体験できる「オンライン植林」など、様々なマングローブの世界を楽しめるサイト「mangrove-world」を開設しました。ぜひ一度ご覧下さい (<http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/mangrove-world/>)。

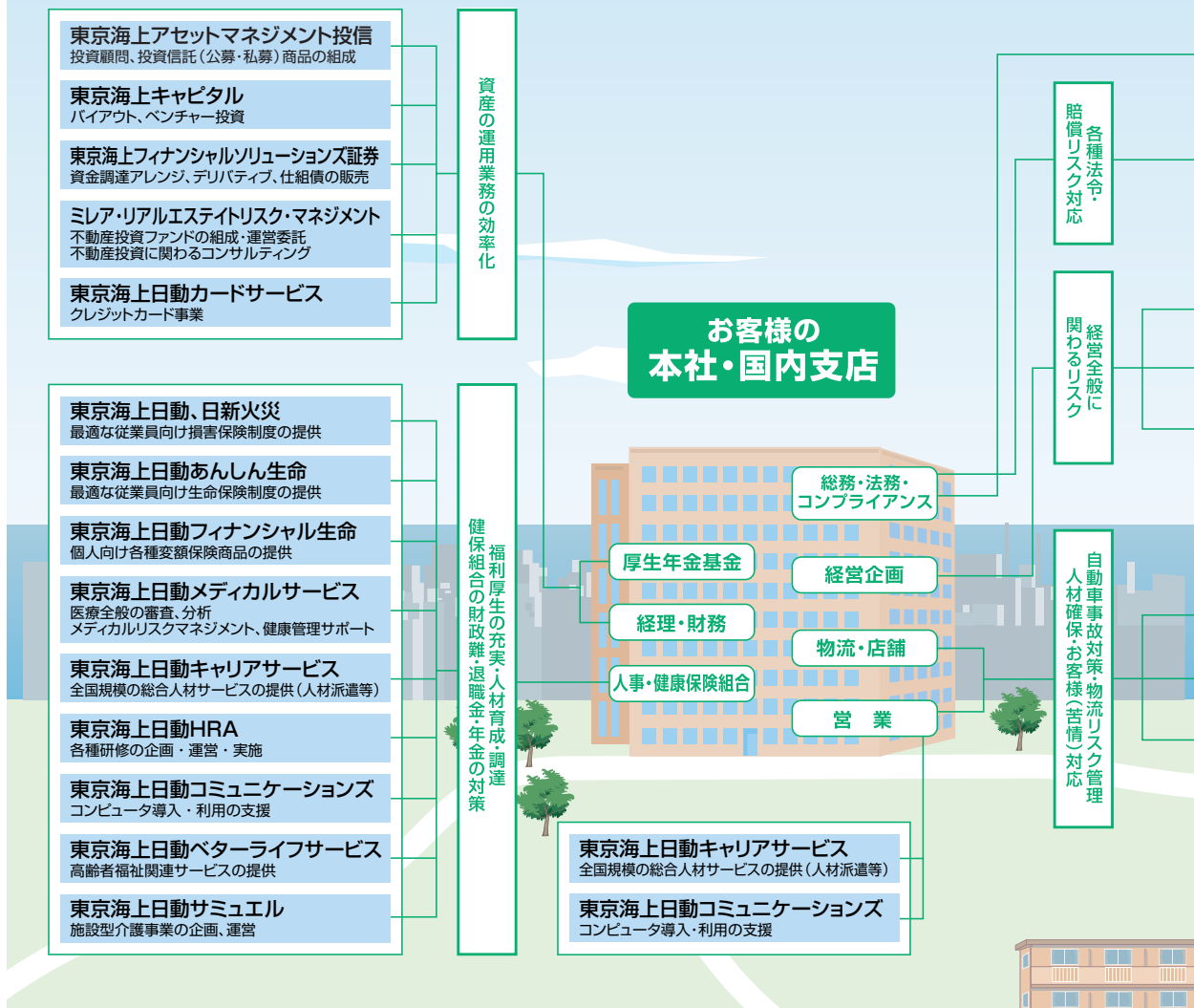


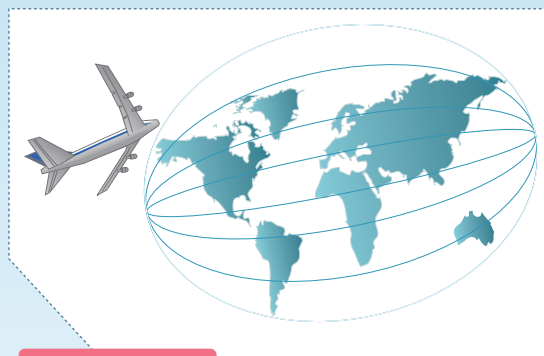
「mangrove-world」のトップ画面

ミレアサービスMAP

ミレアグループは、損害保険・生命保険事業を中心として、個人のお客様、法人のお客様に多様な商品・サービスを提供しています。

この「ミレアサービスMAP」は、法人のお客様を念頭におき、ミレアグループがその総合力を結集してお客様のニーズに対応し、高い付加価値を提供していく姿をイメージしていただくための概念図です。





東京海上日動ファシリティーズ

不動産の管理・活用に関わる総合的な
マネジメントサービスの提供

東京海上日動リスクコンサルティング

各種リスクへのコンサルティングサービスの提供

東京海上日動、日新火災

最適な損害保険プログラムの提供

東京海上日動あんしん生命

最適な生命保険プログラムの提供

東京海上日動リスクコンサルティング

各種リスクへのコンサルティングサービスの提供

お客様の 海外展開

海外管理(人事等)、
海外工場、海外支店、
海外プロジェクト

海外における各種リスク、
管財物件・物流・
駐在員海外現地情報サービス

東京海上日動、日新火災

駐在員ネットワークによる現地対応の提供

海外現地法人

トキオマリン・アジア

アジア地域における傘下の生損保会社の経営管理および支援

インターナショナルアシスタンス

緊急アシスタンスサービスの提供
(海外病院情報の提供・受診手配等)

東京海上日動、日新火災

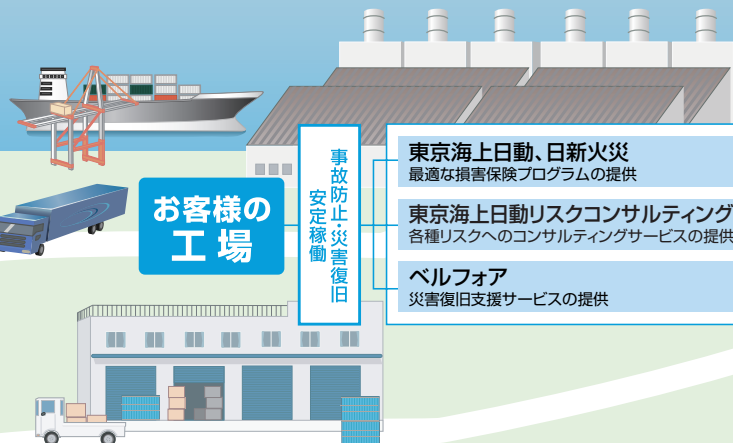
最適な損害保険プログラムの提供

東京海上日動リスクコンサルティング

各種リスクへのコンサルティングサービスの提供

ミレア・モンディアル

総合的なアシスタンスおよびビジネス
プロセスアウトソーシング(BPO)事業の運営



お客様の 工場

事故防止・災害復旧
安定稼働

東京海上日動、日新火災

最適な損害保険プログラムの提供

東京海上日動リスクコンサルティング

各種リスクへのコンサルティングサービスの提供

ベルフォア

災害復旧支援サービスの提供

ミレアホールディングス 中間決算概況(連結)

(平成18年9月30日現在)

平成18年度中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	金 額
(資産の部)	
現金及び預貯金	568,430
コーポレーション	116,781
買現先勘定	44,967
債券貸借取引支払保証金	124,279
買入金銭債権	1,125,568
金銭の信託	89,269
有価証券	11,246,781
貸付金	620,760
有形固定資産	339,211
無形固定資産	22,841
その他資産	812,858
繰延税金資産	47,566
支払承諾見返	86,039
貸倒引当金	△16,514
資産の部合計	15,228,842

科 目	金 額
(負債の部)	
保険契約準備金	9,672,781
支払備金	974,903
責任準備金等	8,697,877
社債	274,172
その他の負債	1,117,245
退職給付引当金	150,878
賞与引当金	24,126
特別法上の準備金	108,216
価格変動準備金	108,216
繰延税金負債	595,807
負債ののれん	146,324
支払承諾	86,039
負債の部合計	12,175,593
(純資産の部)	
株主資本	1,160,891
資本金	150,000
資本剰余金	59,278
利益剰余金	984,758
自己株式	△33,146
評価・換算差額等	1,889,424
その他有価証券評価差額金	1,886,648
繰延ヘッジ損益	9,907
為替換算調整勘定	△7,131
新株予約権	118
少数株主持分	2,814
純資産の部合計	3,053,249
負債及び純資産の部合計	15,228,842



(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

平成18年度中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	金 額
経 常 収 益	2,071,402
保 険 引 受 収 益	1,924,417
（うち正味収入保険料）	(1,044,869)
（うち収入積立保険料）	(116,891)
（うち積立保険料等運用益）	(34,081)
（うち生命保険料）	(728,140)
資 産 運 用 収 益	118,942
（うち利息及び配当金収入）	(109,568)
（うち金銭の信託運用益）	(138)
（うち売買目的有価証券運用益）	(1,163)
（うち有価証券売却益）	(15,976)
（うち有価証券償還益）	(2,069)
（うち金融派生商品収益）	(11,529)
（うち特別勘定資産運用益）	(5,500)
（うち積立保険料等運用益振替）	(△ 34,081)
そ の 他 経 常 収 益	28,042
（うち負ののれん償却額）	(4,429)
（うち持分法による投資利益）	(74)
経 常 費 用	2,018,264
保 険 引 受 費 用	1,785,512
（うち正味支払保険金）	(565,787)
（うち損害調査費）	(37,794)
（うち諸手数料及び集金費）	(208,677)
（うち満期返戻金）	(125,365)
（うち契約者配当金）	(9)
（うち生命保険金等）	(22,904)
（うち支払備金繰入額）	(54,699)
（うち責任準備金等繰入額）	(769,643)
資 産 運 用 費 用	11,269
（うち金銭の信託運用損）	(1,468)
（うち有価証券売却損）	(3,336)
（うち有価証券評価損）	(5,205)
（うち有価証券償還損）	(480)
営 業 費 及 び 一 般 管 理 費	213,115
そ の 他 経 常 費 用	8,366
（うち支払利息）	(3,902)
（うち貸倒損失）	(0)
経 常 利 益	53,138

科 目	金 額
特 別 利 益	1,575
固 定 資 産 処 分 益	488
持 分 変 動 利 益	98
そ の 他 特 別 利 益	988
特 別 損 失	19,923
固 定 資 産 処 分 損	1,543
減 損 損 失	2,863
特 別 法 上 の 準 備 金 繰 入 額	5,598
価 格 変 動 準 備 金	(5,598)
そ の 他 特 別 損 失	9,918
税 金 等 調 整 前 中 間 純 利 益	34,791
法 人 税 及 び 住 民 税 等	43,672
法 人 税 等 調 整 額	△ 28,642
少 数 株 主 利 益	147
中 間 純 利 益	19,612

平成18年度中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科 目	金 額
営 業 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	806,429
投 資 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	△ 474,759
財 務 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	△ 101,586
現 金 及 び 現 金 同 等 物 に 係 る 換 算 差 額	△ 747
現 金 及 び 現 金 同 等 物 の 増 加 額	229,335
現 金 及 び 現 金 同 等 物 期 首 残 高	1,277,127
新 規 連 結 に 伴 う 現 金 及 び 現 金 同 等 物 増 加 額	58,257
現 金 及 び 現 金 同 等 物 中 間 期 末 残 高	1,564,720

ミレアホールディングス 中間決算概況(単体)

(平成18年9月30日現在)

平成18年度中間貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流 動 資 産	73,523	流 動 負 債	765
		賞 与 引 当 金	197
現 金 及 び 預 金	34,576	そ の 他	568
		固 定 負 債	109
未 収 入 金	38,549	長 期 未 払 金	70
		退 職 給 付 引 当 金	38
そ の 他	397	負 債 合 計	874
		(純資産の部)	
固 定 資 産	2,447,386	株 主 資 本	2,519,915
		資 本 金	150,000
有 形 固 定 資 産	160	資 本 剰 余 金	1,764,403
		資 本 準 備 金	1,511,485
無 形 固 定 資 産	0	そ の 他 資 本 剰 余 金	252,917
		利 益 剰 余 金	638,658
投 資 そ の 他 の 資 産	2,447,225	別 途 積 立 金	420,275
		繰 越 利 益 剰 余 金	218,383
関 係 会 社 株 式	2,446,987	自 己 株 式	△ 33,146
		新 株 予 約 権	118
そ の 他	237	純 資 産 合 計	2,520,034
資 産 合 計	2,520,909	負 債 及 び 純 資 産 合 計	2,520,909



(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

平成18年度中間損益計算書

(単位：百万円)

科 目	金 額
営 業 収 益	193,842
関 係 会 社 受 取 配 当 金	192,421
関 係 会 社 受 入 手 数 料	1,420
営 業 費 用	1,618
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,618
営 業 利 益	192,224
営 業 外 収 益	98
営 業 外 費 用	23
経 常 利 益	192,299
特 別 損 失	0
税 引 前 中 間 純 利 益	192,299
還 付 法 人 税 等	25
法 人 税 等 調 整 額	148
中 間 純 利 益	192,176

東京海上日動 事業概況

営業成績及び財産の状況の推移

区 分	平成16年度 中間期	平成17年度 中間期	平成18年度 中間期	平成16年度 (平成17年3月期)	平成17年度 (平成18年3月期)
	億円	億円	億円	億円	億円
正味収入保険料	9,435	9,386	9,570	18,833	18,927
利息及び配当金収入	620	698	835	1,286	1,391
保険引受利益	△313	259	△93	95	346
経常利益	244	878	461	1,752	1,660
中間(当期)純利益	31	489	216	968	1,221
正味損害率	56.2%	59.6%	59.7%	63.4%	60.6%
正味事業費率	31.3%	30.9%	30.7%	31.4%	30.2%
総 資 産	89,937	99,098	104,486	93,062	108,147

(注1) 正味収入保険料、利息及び配当金収入、保険引受利益、経常利益、中間(当期)純利益、正味損害率、正味事業費率については、平成16年度中間期は旧東京海上および旧日動火災の2社合算数値、平成16年度は東京海上日動の数値に旧日動火災の平成16年9月期の数値を合算したものを記載しております。

(注2) 総資産については、平成16年度中間期は旧東京海上および旧日動火災の2社合算数値を記載しております。

注目の商品・サービス

「お客様の声」をもとに作り直しました。
事故前、事故後のサポートまで見据えた新時代の商品。
お客様を総合的(トータル)に支える「**トータルアシスト**」

第3世代自動車保険「トータルアシスト」は、事故の防止から事故後のケアまできめ細かいサポートと補償をご提供します。ご自身の補償、相手方への賠償、お車の補償に加え、もらい事故アシストや入院時選べるアシストなどの6つの安心をプラス。お客様のカーライフをしっかりとお守りします。

もらい事故アシスト
示談交渉のバックアップ

事故現場アシスト
事故直後のサポート

入院時選べるアシスト
入院中のサポート

ロードアシスト
事故や故障の対処

事故防止アシスト
事前の事故防止

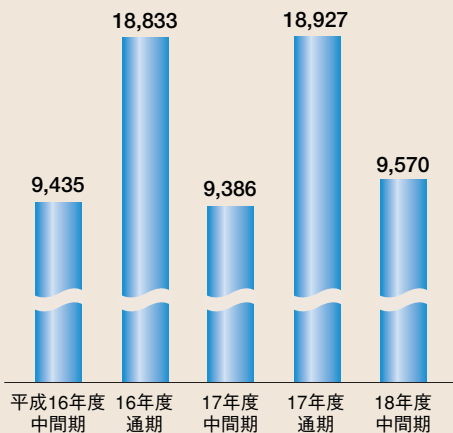
メディカルアシスト
事故後の不安をケア





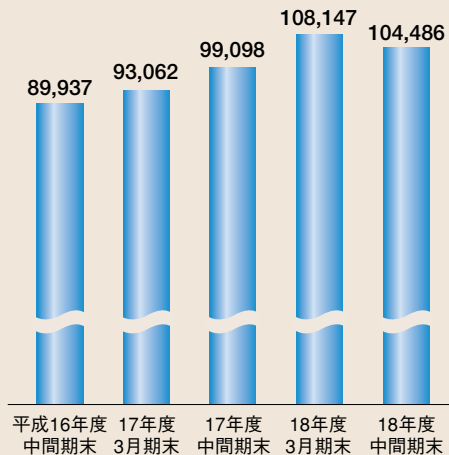
正味収入保険料の推移

(単位：億円)



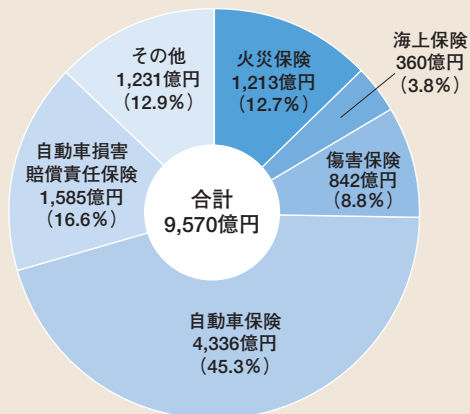
総資産の推移

(単位：億円)

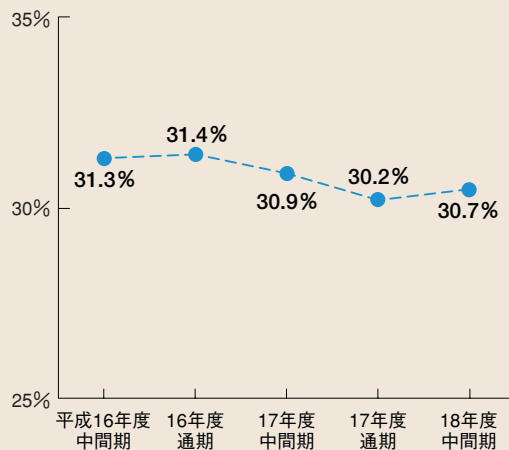


正味収入保険料の種目別構成比

(平成18年度中間期)



正味事業費率



日新火災 事業概況

営業成績及び財産の状況の推移

区 分	平成16年度 中間期	平成17年度 中間期	平成18年度 中間期	平成16年度 (平成17年3月期)	平成17年度 (平成18年3月期)
	億円	億円	億円	億円	億円
正味収入保険料	732	726	732	1,449	1,446
利息及び配当金収入	27	26	35	66	76
保険引受利益	△12	△0	△54	17	△24
経常利益	△1	21	△31	52	53
中間(当期)純利益	△6	12	△18	26	29
正味損害率	56.1%	56.3%	58.9%	63.4%	59.0%
正味事業費率	36.1%	36.6%	36.5%	35.9%	36.5%
総 資 産	4,804	5,035	5,106	4,930	5,177

注目の商品・サービス



【アサンテ】

車両事故の際に日新火災指定の修理工場に入庫し、リサイクル部品を使用して修理を行うことを条件に、車両保険料を約10%割引く自動車保険^(注1)です。アサンテの販売により、リサイクル部品の普及を図ることで、地球環境保護に貢献します。

また、日新火災は、アサンテの販売とともに、MOTTAINAI運動^(注2)にも協賛し、地球環境の保護・資源の有効活用に努めています。

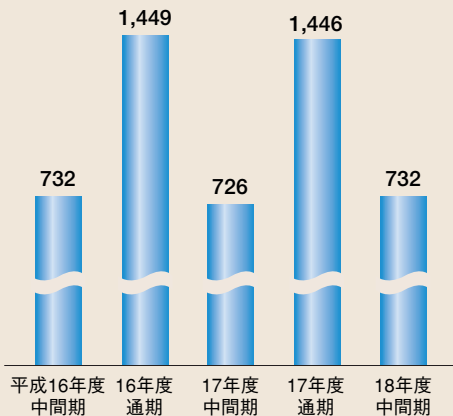
(注1) 総合自動車保険 (VAP) に「リサイクル部品使用特約」と「指定修理工場入庫条件付車両保険特約」をセットした商品です。

(注2) ノーベル平和賞受賞者であるケニアのワンガリ・マータイ氏が提唱する地球環境保護運動です。



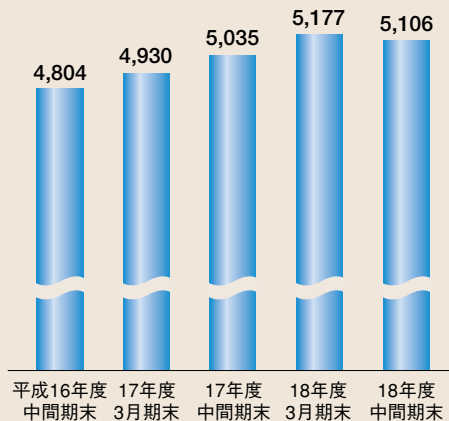
正味収入保険料の推移

(単位：億円)



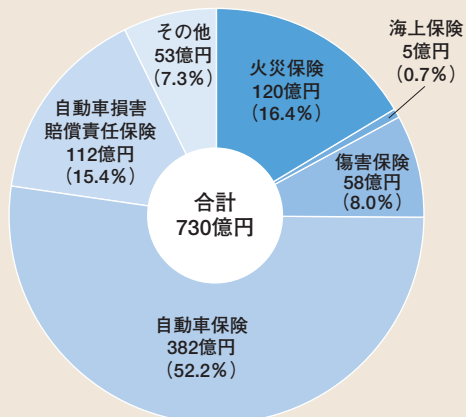
総資産の推移

(単位：億円)

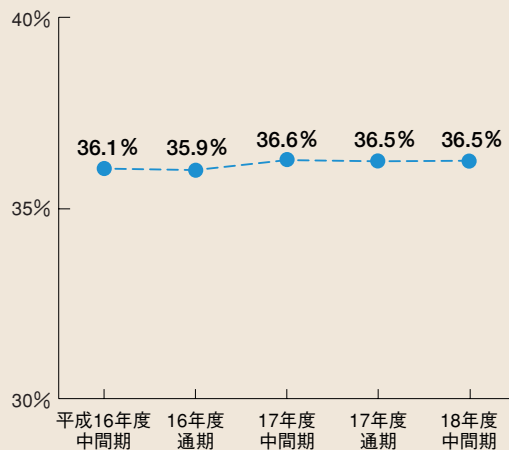


正味収入保険料の種目別構成比

(平成18年度中間期)



正味事業費率



東京海上日動あんしん生命 事業概況

営業成績及び財産の状況の推移

区 分	平成16年度 中間期	平成17年度 中間期	平成18年度 中間期	平成16年度 (平成17年3月期)	平成17年度 (平成18年3月期)
	億円	億円	億円	億円	億円
保有契約高 (注)	140,157	153,240	165,373	148,438	160,404
団体年金保険保有契約高	131	110	96	112	108
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
保険料等収入	197,580	189,845	183,818	441,067	377,591
資産運用収益	20,579	33,140	28,710	40,893	65,461
保険金等支払金	38,935	44,705	57,141	84,035	102,720
経常利益	8,623	9,891	12,325	10,347	8,394
契約者配当準備金繰入額	4,570	4,316	4,364	9,675	7,736
中間(当期)純利益	2,375	3,295	4,752	0	0
総 資 産	1,678,860	1,917,147	2,179,588	1,837,569	2,096,265

(注) 保有契約高は、個人保険・個人年金保険・団体保険の各保有契約高の合計額を記載しております。

注目の商品・サービス

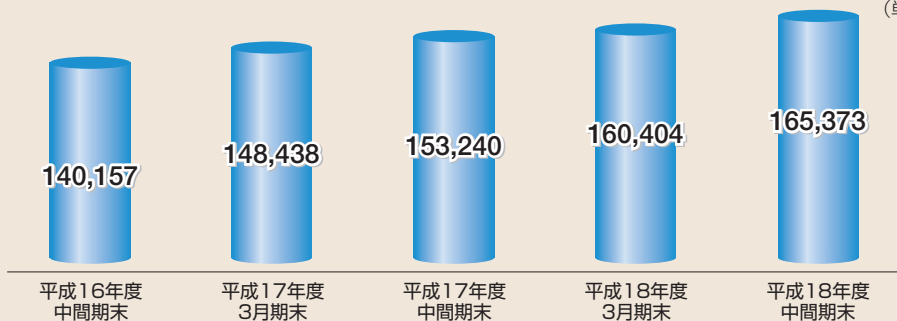
「あんしん医療キャッシュバック60」・「あんしん医療トリプルガード60」の発売



あんしん生命は本年5月に「あんしん医療キャッシュバック60」および「あんしん医療トリプルガード60」を発売しました。これらの商品には、病気やけがで入院した時の1回の入院についての支払限度日数を60日とした入院保障と、所定の手術保障があります。「あんしん医療キャッシュバック60」では、給付金のお支払がなかった場合に、5年ごとに健康給付金をお受取いただけます。また、「あんしん医療トリプルガード60」では、がん・急性心筋梗塞・脳卒中の一定の疾病状態になった場合に、将来の保険料払込が免除となります。

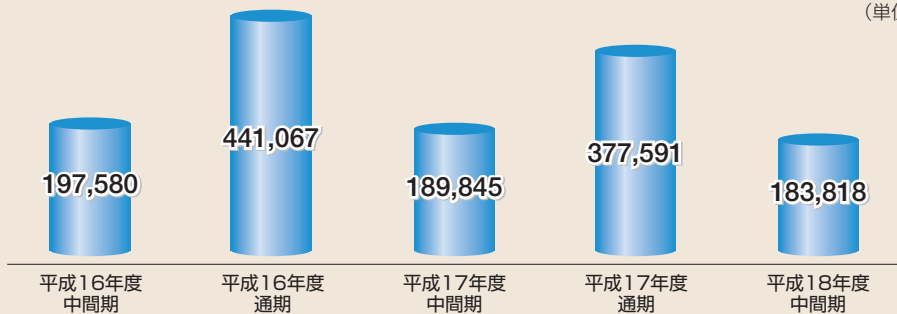
保有契約高の推移

(単位：億円)



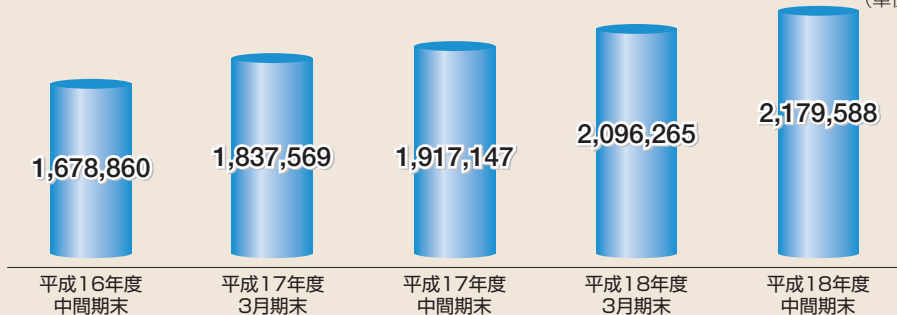
保険料等収入の推移

(単位：百万円)



総資産の推移

(単位：百万円)



東京海上日動フィナンシャル生命 事業概況

営業成績及び財産の状況の推移

区 分	平成16年度 中間期	平成17年度 中間期	平成18年度 中間期	平成16年度 (平成17年3月期)	平成17年度 (平成18年3月期)
保有契約高 (注)	億円 4,832	億円 6,956	億円 15,966	億円 5,472	億円 10,551
保険料等収入	百万円 17,188	百万円 135,350	百万円 588,273	百万円 50,375	百万円 466,072
資産運用収益	12	33,028	5,532	613	89,675
保険金等支払金	5,486	7,744	12,208	10,646	18,824
経常利益	△ 1,210	△ 8,154	△ 13,423	△ 5,518	△ 22,255
中間(当期)純利益	△ 1,213	△ 8,159	△ 13,441	△ 5,525	△ 22,265
総 資 産	180,835	384,137	1,334,296	219,591	766,456

(注) 保有契約高は、個人保険・個人年金保険の各保有契約高の合計額を記載しております。また、個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資(一時払変額個人年金保険は責任準備金)と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

注目の商品・サービス

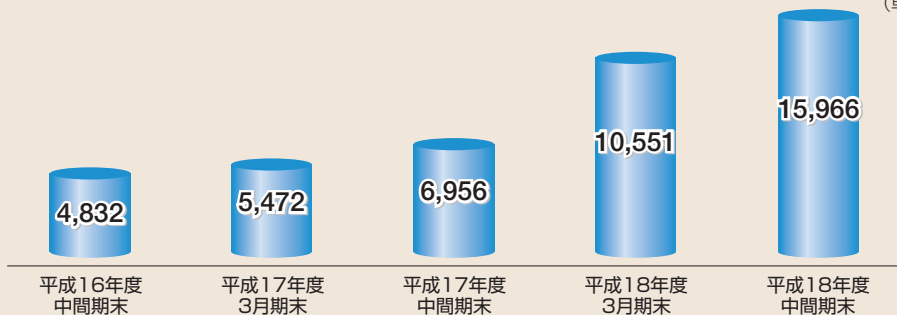


年金受取総額保証付 変額個人年金保険GF

フィナンシャル生命は、ご契約の際にお客様が設定した目標値に到達した時点で安定的な運用に自動的に移行することにより運用成果を確保したり、また年金受取総額で元本相当額を100%最低保証するなど、収益性や安定性に対するニーズにお応えする商品を開発しております。

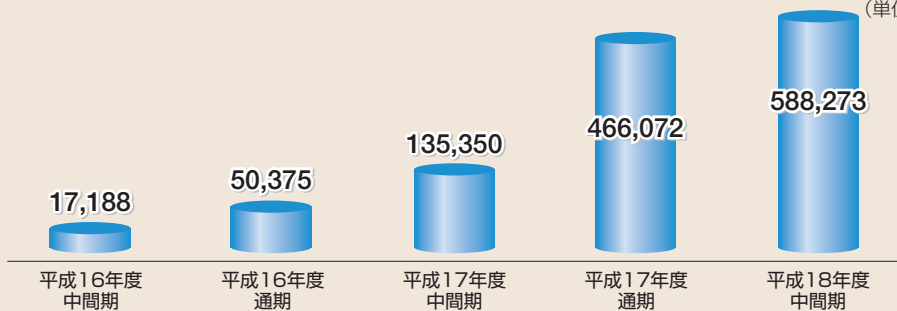
保有契約高の推移

(単位：億円)



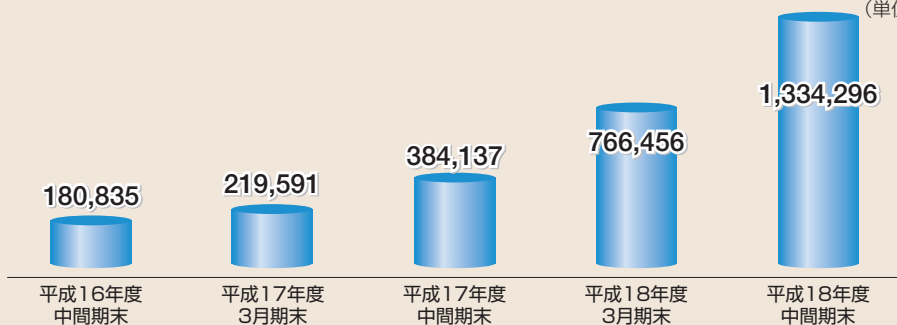
保険料等収入の推移

(単位：百万円)



総資産の推移

(単位：百万円)

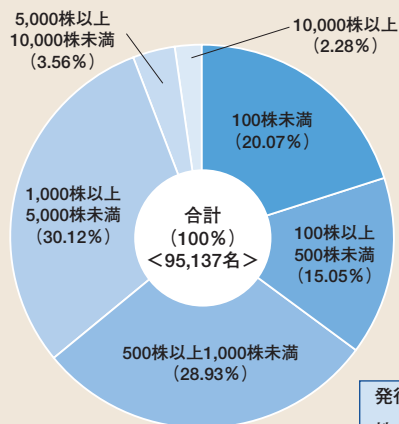


株式の状況

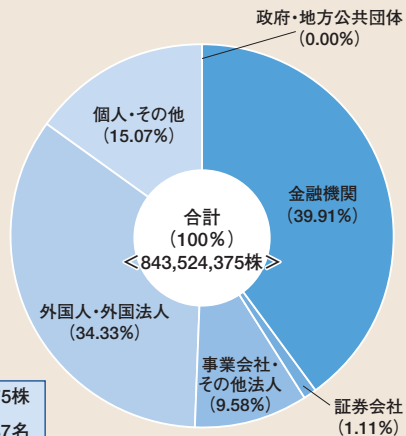
株主・株式の分布状況

(平成18年9月30日現在)

所有株式数別株主分布状況



所有者別株式分布状況



発行済株式総数 843,524,375株
株主数 95,137名

大株主

(平成18年9月30日現在)

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口	54,341,800	6.44
日本マスタートラスト信託銀行株式会社信託口	46,768,190	5.54
モクスレイ・アンド・カンパニー	42,883,000	5.08
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	22,415,378	2.66
明治安田生命保険相互会社	20,498,477	2.43
株式会社三菱東京UFJ銀行	20,066,370	2.38
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505103	16,326,202	1.94
みずほ信託 退職給付信託 三菱重工業口 再信託受託者 資産管理サービス信託	14,074,000	1.67
株式会社みずほコーポレート銀行	13,522,830	1.60
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン	12,121,745	1.44

(注) モクスレイ・アンド・カンパニーは、ADR発行のため預託された株式の名義人です。

会社概要

(平成18年9月30日現在)

名称	株式会社ミレアホールディングス (英文名称: Millea Holdings, Inc.)
本店所在地	東京都千代田区丸の内1丁目2番1号 東京海上日動ビルディング新館
設立日	平成14年4月2日
資本金	1,500億円
従業員数	282名
上場証券取引所	東京証券取引所 大阪証券取引所 米国ナスダック
事業内容	子会社の経営管理およびそれに附随する業務

取締役・監査役

(平成18年9月30日現在)

取締役社長	石原邦夫 (東京海上日動火災保険株式会社 取締役社長)
専務取締役	八木利朗
常務取締役	小谷友宏
取締役	榎原稔 (三菱商事株式会社 相談役)
取締役	桜井正光 (株式会社リコー 代表取締役 社長執行役員)
取締役	島田晴雄 (慶應義塾大学経済学部 教授)
取締役	岩下智親 (東京海上日動あんしん生命保険株式会社 取締役社長)
取締役	石井守雄 (東京海上日動火災保険株式会社 取締役副社長)
取締役	雨宮寛 (東京海上日動火災保険株式会社 常務取締役)
取締役	宮島洋 (日新火災海上保険株式会社 取締役社長)
取締役	玉井孝明 (東京海上日動火災保険株式会社 常務取締役)
常勤監査役	上野昭二
常勤監査役	上岡哲雄
監査役	三木繁光 (株式会社三菱東京UFJ銀行 取締役会長)
監査役	福田博 (弁護士)
監査役	川本裕子 (早稲田大学大学院ファイナンス研究科 教授)

株主メモ

決 算 期	3月31日
基 準 日	定時株主総会 3月31日 期 末 配 当 3月31日 中 間 配 当 9月30日
公 告 方 法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行います。
単 元 株 式 数	100株
株 主 名 簿 管 理 人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
同 事 務 取 扱 場 所	三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 ※住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式の買取・買増請求に必要な各用紙および株式の相続手続依頼書のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-86-4490（24時間、自動音声対応）にて承ります。
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店
お 問 合 せ 先 / 郵 便 物 送 付 先	〒171-8508 東京都豊島区西池袋1丁目7番7号 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 電話0120-707-696（フリーダイヤル）
単元未満株式の買取 請求および買増請求	単元未満株式の買取請求およびご所有の単元未満株式を単元株式数（100株）にするための買増請求につきましては、上記株主名簿管理人の事務取扱場所および取次所にて受け付けております。なお、株券保管振替制度をご利用の場合には、預託されている証券会社にお申し出ください。

中間配当に関するお知らせ

株主の皆様への利益配分の機会を充実させるため、当中間期より中間配当をスタートいたしました。第5期中間配当は下記のとおりです。

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. 中間配当金 | 1株につき15円 |
| 2. 効力発生日および支払開始日 | 平成18年12月11日 |



株式会社 ミレア ホールディングス

東京都千代田区丸の内1-2-1

〒100-0005 電話 (03) 6212-3333 (代表)

<http://www.millea.co.jp/>

この報告書は再生紙を使用しています